

学習内容報告書 フォーマット

学校名	館山市立館山小学校
授業者	山口 慶太、屋城 千咲

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

2. 単元名

アマモ学習

3. 学年

4年

4. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

5. 単元の概要

花枝採集

アマモ花枝採集活動を通して、近年、減少を続けている「アマモ場」の役割を学習し、「海のゆりかご」と呼ばれているアマモ場が増えることにより、海の環境がどのように変化するのかを考える。

種子選別

アマモ種子選別活動を通して、「アマモ場」の役割を学習し、「海のゆりかご」と呼ばれているアマモ場が増えることにより、海の環境がどのように変化するのかを考える。

苗床づくり

アマモ苗床づくり活動を通して、「アマモ場」の役割を学習し、「海のゆりかご」と呼ばれているアマモ場が増えることにより、海の環境がどのように変化するのかを考える。

6. 単元設定の理由・ねらい

アマモに関する活動を通して、近年、減少を続けている「アマモ場」の役割を学習し、「海のゆりかご」と呼ばれているアマモ場が増えることにより、海の環境がどのように変化するのかを考えることができる。

7. 育みたい資質や能力、態度

アマモに関する活動を通して、海の環境やアマモの役割について知り、自分達の身近にある海について興味をもち、環境を守っていかうと考える態度を育てる。

8. 単元の展開（全3時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	アマモの花枝を採集する。	<p>○人数が均等になるようグループを分ける。</p> <p>○安全に活動するために、活動範囲を設定する。</p> <p>●アマモ花枝採集活動を通して、アマモ場が増えることにより、海の環境がどのように変化するのかを考えることができる。(観察・ワークシート)</p> <p>・使用教材 (救命胴衣・ワークシート)</p>
1	アマモの種子を選別する。	<p>○人数が均等になるようグループを分ける。</p> <p>●アマモ種子選別活動を通して、アマモ場が増えることにより、海の環境がどのように変化するのかを考えることができる。(観察・ワークシート)</p>
1	アマモの苗床づくりをする。	<p>○人数が均等になるようグループを分ける。</p> <p>○安全に活動するために、活動範囲を設定する。</p> <p>●アマモ苗床づくり活動を通して、アマモ場が増えることにより、海の環境がどのように変化するのかを考えることができる。(観察・ワークシート)</p> <p>・使用教材 (プランター・シャベル)</p>

9. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

10. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

11. 本時の目標

アマモ苗床づくり活動を通して、「アマモ場」の役割を学習し、「海のゆりかご」と呼ばれているアマモ場が増えることにより、海の環境がどのように変化するのかを考える。

12. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1. あいさつ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○海辺の鑑定団の方の紹介をする。 ○協力してくださる保護者ボランティアを紹介する。 ○活動の見通しをもたせる。 ○必要な道具の準備をする。 ○グループに分けて、担当の職員の紹介をする。 ○道具や苗床づくりの方法を伝える。
<p>2. グループごとに苗床づくりをする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○グループを見て回り、安全に取り組めているか確認する。 ○グループで協力して作業に取り組めるよう声をかける。 ●友達と協力して作業に取り組むことができる。 (観察)
<p>3. ビーチコーミング</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○安全に活動するために活動範囲を確認する。 ○子どもと一緒に貝殻を見つけたり、海の環境に興味をわくように声をかけたりする。
<p>4. 振り返り</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ワークシートを準備し、学習の振り返りをさせる。 ●アマモ場が増えることにより、海の環境がどのように変化するのかを考えることができる。 (観察・ワークシート)

13. 今回の活動の自己評価

子ども達の身近にある海であるが、子ども達にとっては、夏に泳ぐ場所、砂浜で遊んだり、貝殻を拾ったりする場所というようなイメージでしかなかった。そこで、今回のようにアマモに視点を絞って学習を進めていくことで、自分達が今後どのように海と関わっていけばよいのか、海の環境に対して興味・関心を高められるようにした。

子ども達にとっては、「アマモ」の存在自体知らないもので、アマモの存在とその重要性を知ることで、海の環境へと思いを馳せることができた。さらに、ビーチコーミングや海に入ってから活動を行うことで、さらに海を好きになり、生き生きと活動に取り組む姿が多く見られた。

14. 今後の課題

子どもの興味・関心を高めることができたが、事前・事後指導へと生かすことが難しかった。アマモに視点を絞って、海の環境学習への窓口を広げることができたので、社会科、理科の学習とも絡めて、ごみの問題や生き物の問題へと発展させることもできたのではないかと感じた。「どうしたら、子ども達にとってさらに深い学習へと繋がることのできるのか」について課題が残った。

15. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

- ・事前・事後指導をどのように行っていくのかしっかり考える必要がある。
- ・教科横断的に取り組めるか検討する必要がある。

※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。